

わたしのおすすめ商品

ふくしサービスセンターどんぐり
峰 美穂 さん



今回は、福祉ワーカーズ がおすすめを紹介します。

たっぷりの冷凍宮島かき(広島産)500g
923円 (税込 996.84円)
国内GMOフリー 冷凍 冬越しのかきを急速凍結しました。
[加熱用]バラ凍結 70kcal/100gあたり



私のおすすめは、『たっぷり冷凍宮島かき(広島産)』です。
これから旬を迎える「牡蠣」をお勧めします。バラで冷凍してあるので、少しずついろいろな料理に使えるのも魅力。鍋には必須。ちゃんぽんに入れて、スープも更に美味しくなります。バター焼きも美味！です。粒も大きくて食べ応えがあります。海のミルクと言われる牡蠣、お腹も心も身体も満足できること間違いなしです。

ふくしサービスセンターどんぐり
向井 好美 さん



産直豚小間切300g
635円 (税込 685.80円)
non GMO 冷凍 分割トレー



私のおすすめは、『豚肉』です。
我が家では豚肉を欠かせない程、家族全員グリーンコープの豚肉の大ファンです！こま切れ肉は、お弁当作りには欠かせないので、毎週注文！とんかつにはロース肉、豚バラ薄切りは巻物などなど…豚肉自体には何とも言えない甘みがあり、脂身も美味しくいただけます！しゃぶしゃぶ用には、刺身醤油にワサビも合うそうですよ。

お便りコーナー

今回のお題は「〇〇の秋」♪

『新幹線の秋！』

西九州新幹線が、いよいよこの秋開業ですね。プラレール大好きな息子が居る我が家では、「新幹線の秋」!!といっても、まだまだコロナ禍。駅で新幹線を見て楽しもうと思っています。家族みんなで、新幹線旅行ができる日を夢みて☆三(長崎市)ペンネーム ひじりさん

待ちに待った西九州新幹線！デザインもカッコよくて乗車できるのが待ち遠しいですね♪ご家族皆さんでの新幹線旅行の暁には、ぜひ体験記をお待ちしています♪(編集部)

次回のテーマは「我が家のおススメ、鍋の具材」です

ネグロスバナナと民衆交易 第3回

ネグロスバナナが日本に運ばれるまで(前半)



生産者は山間地からバナナを収穫し、山道を重いバナナを担いで歩いて集荷所まで運ぶよ。



担当者がキズやサイズをチェックし、基準に適合したものを生産者から買い取るよ。



シャワーやスポンジなどを使ってバナナを丁寧に水洗いするよ。



バナナの熟度、キズ、サイズなどを再度チェックし、箱詰めします！

お便り募集中

グリーンコープのことはもちろん、日々の楽しみや、おススメ情報、趣味のお話など、ぜひ気軽にお便りください♪

いらない封筒に「陽だまり編集宛」と記入しカタログと一緒に配送さんに渡して下さってもOKです！

紙面に掲載させていただいた方へお礼の品をお届けします☆

【宛先】(↓切り取ってハガキに貼りつけられます)

〒854-0061 グリーンコープ生協
諫早市宇都町3-60(3階) 組合員事務局
広報紙『陽だまり』 担当: 前田 宛

みなさん、鍋には何入れてますか〜?

★お便り必切 10/31 お名前・ご住所・ペンネームでの掲載をご希望の方はペンネームを明記してお送りください。

陽だまり

- ★2022年度平和のつどい・自転車隊の様子
- ☆脱原発学習会「木村先生講演会」開催報告
- ☆カーボンニュートラルについて
- ☆家庭でのエコ活動
- ネグロスバナナと民衆交易について、ほか

発行日：2022年9月26日 発行：グリーンコープ生協(長崎)理事会

8/9(火)「平和のつどい」が開催されました!

8月9日(火)爆心地公園にて「平和のつどい」を開催しました。今年度は3年ぶりに「共生・平和長崎自転車隊」も走行！例年2日間に渡って福岡の柳川から爆心地公園までの125Kmを自転車で行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染対策を徹底し、2日目のみの行程、長崎市田中町の長崎蒲鉾(有)から爆心地公園までを走行しました。



3年ぶりの走行!! 2022年度 共生・平和長崎自転車隊 長崎蒲鉾(有)田中町⇒爆心地公園



休憩地点の伊良林小学校に到着。学校児童からの応援エールで元気をもらいました。



暑い中、みんなほんとによく頑張った〜!!



沢山の声援と、サポート隊に見守られながら、自転車隊の子たちも頑張って走行しました!

「平和のつどい」

今年度の「平和のつどい」は共生・平和長崎自転車隊の子ども達と、その保護者の方々と一緒に、爆心地公園にて開催しました。3年ぶりに自転車隊を迎えての「平和のつどい」ではグリーンコープ生協(長崎)理事長、島田美砂子からのあいさつをはじめ、銀輪隊代表、自転車隊代表の子ども達の平和への想いが込められたスピーチを聞きました。11時02分、サイレンと共に黙とうを捧げ、最後に、「青い空は」の合唱をしました。自転車の走行で疲れているはずの子ども達も、真剣な眼差しで「平和のつどい」に参加し、全員で生命と平和を考える時間を共有することができました。



ゴールの爆心地公園では、冷たい元気くんサイダーやソーダアイスが配られました。



折り鶴奉納

「平和のつどい」終了後、各単協から届けられた折り鶴を原爆投下中心碑に収めました。昨年に引き続き、今年も沢山の折り鶴が集まり、長崎の組合員さんからは21,400羽の折り鶴が届けられました。折しも、現在ウクライナへの軍事侵襲おこなわれ、多くの尊い生命が奪われています。生命を大切に考えると同時に、一刻も早い終結を切望し、「不戦」の想いを込めながら奉納してきました。



グリーンコープ生協(長崎) ご利用状況のご案内

組合員数: 16,404人 ↓ (2022年8月26日現在) ~緑の地球をみどりのままで~	リユース・リサイクル状況 牛乳びん回収率 97.4% ↓ カタログ回収率 73.9% ↓	グリーンコープでんき 加入件数: 235人 ← (2022年8月現在)
---	--	---



グリーンコープ長崎ホームページをぜひご覧ください!

脱原発学習会



親子で学ぼう 江戸のリサイクル文化とSDGs



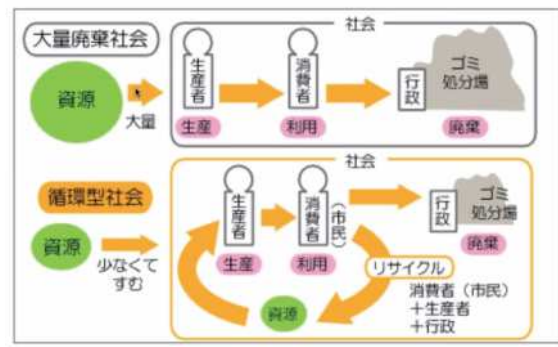
8月23日(火)脱原発学習会「親子で学ぼう・SDGsと江戸のリサイクル文化と今」オンライン講演会が開催されました。

講師に、獨協医科大学准教授、同学国際疫学研究室福島分室室長でもある、木村真三先生を迎え、江戸の人々の生活様式や、リサイクル文化とはどのようなものだったのかを知り、現代のSDGsにつながるお話をいただきました。

そこから現代の話につながり、持続可能なエネルギーとは何か？これからの世界、日本はどのようなエネルギーを使っていくべきなのか、というお話を小学生の子どもにも解りやすく話されました。子ども達から色々な質問も出て、この学習会に真剣に取り組む様子が伝わり、木村先生もとても褒めてくださいました。最後は、持続できないエネルギーの話として、11年前の東京電力福島第一原発事故でわかった原子力発電所の怖さと、現在起こっている、ウクライナへのロシア軍の侵攻で、南ウクライナ原発への攻撃が起こりうるということで、自然災害以外での原発の安全性についての問題提起もされ、これからのエネルギーの重要性や、私たちに何が出来るか、何をすればいいのかを考えさせられる講演会でした。



木村真三先生



※添付資料
獨協医科大学
木村真三講演資料より引用

江戸のリサイクルとは・・・

江戸の人口は100万人！
人口に対して、物流や物が追いつかず、限りある資源を有効に使っていた！



・江戸にも古着屋があった！
高価な着物を買取り、古着として販売する古着屋が江戸にもあった。

・着物は灰になるまでリサイクル！
着物は元々植物(綿・絹)から作られる。着られなくなった着物は、仕立て直したり、雑巾になったり、赤ちゃんのオムツ、下駄の鼻緒、火をつける焚きつけに使われ、燃やした後の灰は畑の土に混ぜて土壌改良に使用した！



・共同井戸！
江戸の井戸は、地下水ではなく、上水を樋で水を送るための管で川から引いていた。長屋の一角にあるこの井戸端で洗顔や、洗濯をしていた。

・共同便所！
尿尿(しにょう)は良質な肥料となるため、近郊の農家からくみ取りに来て、野菜やお金と交換した。

・芥溜(ごみため)
各家庭から出たごみは、長屋の一角にある芥溜に出され、町の大芥溜に集められた。ごみは幕府公認のごみ処理業者によって、燃料・肥料に再分別。いよいよ使い道の無いごみだけを埋め立て用として幕府の指定した投棄場に運んだ。

江戸の人の暮らしの話から、原子力発電の話と、子どももとても聞きやすかったようです。質問も積極的にしていました。子どもながらに「原発は持続可能な手段ではない」と思ったようで、講演後には「どうしたら原子力発電所をなくせるかな？」と話しあうきっかけになりました。原子力発電所を0にする！電気が足りなくなるよ。太陽光！パネルのごみ処理が大変だよ。みんなで昔の暮らしをする！ゲームも遊園地もなくなるよ。と、意地悪な切り返しをしましたが、「一つのことでは解決できる問題じゃなさそうだね。」「いろんなことをしていかないとだね。」という話ことができました。

参加した親子の感想



木村先生の話聞いて、電力の資源は4つ(石油、天然ガス、ウラン、石炭)もあり、その資源に限りがあること、節電をしないとイケないことがわかりました。また、福島で使われていない電気が、福島で作られていることも不思議でした。そして、江戸時代からリサイクルがあり、古い着物を売るという古着屋さんがあることがわかりました。

小学一年生の息子と参加しました。疑問を持つことや間違えることを恐れず発言することは学び

に繋がること、大切なことはきっと子供達に伝わるはずだと丁寧に話し続ける姿勢が感動的でした。深い理解はできずとも「核」「原子力」「放射線」のキーワードを耳にする機会が繰り返しあり続けることが、これから大人になる子供達の意識を育てることに繋がると感じます。これからも是非続いて欲しい貴重な平和学習の機会です。

現代でもできることとは？

現代の私たちのくらしは、エネルギーを使うことで生きていくことができます。しかし、地球の中でたくわえられたエネルギーは、人の手によって消費され、いつかは無くなってしまいます。



グリーンコープの

4R

- Refuse (断る)
- Reduce (減らす)
- Reuse (再利用)
- Recycle (リサイクル)



家庭で、私たちが、やっていること、できること

- ・日除け対策
よしずやすだれをかける。
(自然の素材で、自然に還るもの)
- ・使用していない電化製品はコンセントからプラグを抜いておく。
- ・移動は公共交通機関を使用したり、2〜3kmの距離だと歩いて行く。
- ・家庭から出た生ゴミから堆肥を作る。
- ・使わなくなった服やタオルを切って、雑巾やキッチンで食器の汚れ拭きに使おう。
(洗剤と水の節約につながります)
- ・風呂水を洗濯で再利用。
- ・掃除はなるべく、ほうきと拭き掃除。掃除機はたまに使う程度。
- ・減農薬の野菜は皮も食べることで生ゴミを減らす。
- ・アクリルたわしを使い、なるべく洗剤を使用しないようにする。
- ・使用済みの歯ブラシを掃除に使用し、有効活用する。